

リガク、Merck と開発パートナーシップ契約を締結 -新規分子構造解析技術の開発を推進-

- リガク、及び Merck は、極めて革新的な結晶スポンジ技術を用いた実験室ソリューションの商用化に向けた共同開発を推進します。
- リガクは、一連のソリューション開発において、ワンタッチ分析の実現に向けた X 線分析関連装置の開発を実施します。
- Merck は、一連のソリューション開発において、サブマイクログラム・スケールでの化学物質構造解析、特に絶対構造決定の為に試薬・ツール製品群の開発を実施します。

2019年6月6日、東京発 - X線回折を中心とした科学分析機器で世界をリードする株式会社リガク（以下、リガク）と科学技術分野における世界有数の企業である Merck（本社：ドイツ ダルムシュタット、以下メルク）は、共同開発契約を締結しました。

リガクとメルクは、極めて革新的な結晶スポンジ技術を基にした一連の試薬・ツール群を共同開発します。これにより、X線結晶構造解析を行う際に試料の結晶化を行う必要がなくなり、絶対構造を含む有機分子の三次元構造をより容易に決定することが可能になります。

「リガクは、過去数十年に渡り、ハイエンドの結晶構造解析市場を最新技術で牽引してきました。このプロジェクトは、今まで結晶構造解析をご活用頂いてきた専門家のみならず、医薬品、ライフサイエンス、革新的機能性新素材を始めとした広い分野において、分子構造情報を必要とする全ての皆様に、新しい可能性の扉を開く事になるでしょう。」 渡邊 好章（リガク 取締役副社長）

「メルクは、サブマイクログラム・スケールの微量な試料においても、迅速な絶対構造の決定を促進する可能性を秘めた新しい技術、結晶スポンジ法のライセンスを取得しました。今回のイノベーションプロジェクトの目的は、結晶スポンジ技術に特化した専用の試薬・ツールを開発し、この素晴らしい技術の利用をより簡便かつ容易にすることです。我々は、リガクがこの技術に最適な機器の開発に相応しい、秀でたパートナーであると認識しており、このプロジェクトを共に進めてゆくことに大変期待しています。」 Isabel De Paoli (Chief Strategy Officer, Merck) イザベル・デ・パオリ（メルク 最高戦略責任者）

結晶スポンジ技術を利用した革新的アプローチは、極めて微量な化合物、揮発性物質、その他の非晶質への適用も可能です。本プロジェクトは、創薬化学・製薬分野・精密化学・天然物研究を始めとする化学・ライフサイエンス分野において、分子構造決定を必要とする全ての皆様が、この高度な技術を簡便に利用できるようにすることを目的としています。

本技術(結晶スポンジ法)の創案者である藤田 誠 卓越教授(東京大学、分子科学研究所)は、東京大学及び科学技術振興機構を通じて引き続き本プロジェクトに関与されます。

本パートナーシップ契約は、すでに結晶スポンジ法を活用されている先駆的なお客様に装置を出荷し改良を続けてきたリガクの強みと、メルクの持つ革新的ライフサイエンス関連製品、及び分析関連消耗品市場における独自のノウハウを包括するものであり、両社にとって化学分析分野における特筆すべき戦略的機会を与えるものと認識しています。

本プロジェクトは、リガク本社・東京工場、及び、Merck Innovation Center (在ダルムシュタット)を拠点として実施します。リガクが引続き開発を進める次世代装置と、メルクの画期的な新製品の登場にご期待ください。

結晶スポンジ法を含むリガクの次世代構造解析については、以下のページをご参照ください。

sponge.rigaku.com

メルクについて

Merck (メルク)はヘルスケア、ライフサイエンス、パフォーマンスマテリアルズ分野における世界有数のサイエンスとテクノロジーの企業です。約52,000人の従業員が、人々の暮らしをよりよくすることを目標に、より楽しく持続可能な生活の方法を生み出すことに力を注いでいます。ゲノム編集技術を進展させることから治療が困難を極める疾患に独自の治療法を発見すること、また各種デバイスのスマート化まで、メルクはあらゆる分野に取り組んでいます。2018年には66カ国で148億ユーロの売上高を計上しました。

メルクのテクノロジーと科学の進歩において鍵となるのは、サイエンスへのあくなき探求心と企業家精神です。それはメルクが1668年の創業以来、成長を続けてきた理由でもあります。創業家が今でも、上場企業であるメルクの株式の過半数を所有しています。メルクの名称、およびブランドのグローバルな権利は、メルクが保有しています。唯一の例外は米国とカナダで、両国では、ヘルスケア事業ではEMD セローノ、ライフサイエンス事業ではミリポアシグマ、パフォーマンスマテリアルズ事業ではEMD パフォーマンスマテリアルズとして事業を行っています。

リガクについて

1951年の創業以来、リガク・グループはX線分析装置・熱分析装置のパイオニアとして、研究開発の現場から品質管理を始めとする工業利用に至るまで70年近い歴史の中で培ったノウハウとテクノロジーで、世界の大学、研究機関、産業界とともに科学技術の進歩、先端技術産業の発展を支え、お客様と共に成長を続けて参りました。

現在では1,400人を超える従業員が、世界90カ国以上に納入された汎用X線回折(XRD)、薄膜分析(XRF、XRD、XRR)、蛍光X線分光分析(TXRF、EDXRF、WDXRF)、小角散乱分析(SAXS)、蛋白・低分子X線結晶構造解析、ラマン分光分析、X線光学素子、半導体関連装置(TXRF、XRF、XRD、XRR)、X線発生装置、CT スキャン、非破壊検査、熱分析製品の製造、販売、保守に従事しております。リガクは、お客様との高度なコミュニケーションを礎に、常に科学の進歩と最先端の研究開発活動・生産を支えて参ります。

リガクの最新情報は、リガク・ウェブサイト以外にも、メールマガジンや SNS 等、各種メディアに配信します。www2.rigaku.com の受信登録ボックスや SNS アイコン群からもアクセスが可能です。